

28日午前から、磯採集は千原光雄先生の指導のもとに、センターから至近の磯で行われ、ワークショップ参加者と合同の海中林観察は、前川行幸三重大学教授を中心とする指導陣の案内でスノーケリングによって行われた。午後は、エクスカージョン班は海藻標本作製、ワークショップ班は光合成測定の準備等にそれぞれ費やした。

宿泊棟食堂での夕食を兼ねた懇親会は、スタッフを合わせて50名ほどの規模となったが、水産庁遠洋水産研究所の池原宏二氏から寄贈された大量のメバチ（マグロの1種）がセンター技官の包丁さばきで盛りつけられた皿は、食卓を豪華なものにした。

翌29日にエクスカージョンは解散。ワークショップは光合成の測定などを行い、30日に解散した。

わずかなスタッフで準備を開始した本大会だったが、職員から常駐学生までの下田臨海実験センターの全構成員、筑波キャンパスからのスタッフや院生、そして下田から各大学等へ散ったOBやOG達と、多くの友人や教え子達に支えられて無事終了することができたといえる。発表内容も大変豊かなものとなったが、松江東高校生物部の3名の女子部員のオブザーバー参加はとくに心に残った。指導の先生達との共同の展示発表のパネルは多様な淡水藻の美しい光顕像で飾られていた。

本大会は成功であったと自賛したいが、やはり大勢の会員がはるばる下田を訪ねてくれたればこそである。深謝の意を表したい。

(415-0025 静岡県下田市5-10-1 筑波大学下田臨海実験センター)

## 須之内 千代：日本藻類学会第22回大会参加記

今回の学会参加は私にとって大変意味深く、しかも、楽しいものでした。おそらく、私に限らず、参加された全ての方々に、今回の学会は際だった印象を残したのではないのでしょうか。

まず、わたくしごとで恐縮ですが、今回、企業から参加させていただいた経緯を簡単に紹介させていただきます。

昨年1年間、私は卒業研究のため、下田臨海実験センターで過ごしました。中学時代に初めてテレビで知ったナマコという動物へのこだわりを追いかけて、ついにたどりついたのが、伊豆半島の突端にあるこの研究所だったわけです。

与えられた自然があまりにも豊かで、たった一匹のナマコがあまりにも不思議で、小さな下田という町に



口頭発表会場風景。



ボランティアスタッフ（スライド受付）

詰まった魅力が大きすぎて、圧倒されっぱなしの毎日でした。

このたび、そんな思い出のいっぱい詰まった下田の地で、お世話になった先生方が中心となって学会が開かれると聞いて、とびついたのは言うまでもありません。幸い、就職先が理科実験器具の会社でしたので、商品開発のヒントをいただき、先生方に私たちの仕事を知っていただくなど、いくつかの目的をからめて、お仕事として参加できることになりました。

大潮の夜ごとに、暗い海岸の岩の間にしゃがみこんでナマコをカウントしていた頃、手を休めて見上げた、丘の上のたった一つのともしび。それが今回の学会会場となった下田東急ホテルでした。憧れていたホテルは期待通りにゴージャスで、そこに集ったたくさんの研究者が華やかさをそえていました。

全体的に若い方が多く、藻類学の裾野の広さを感じました。また、企画が斬新で、いろいろな工夫で学会が活気づいているのを肌で感じました。例えば、海藻おしばがそれぞれについた贅沢な名札、「私たちの御飯は光 海を濁さないで」というメッセージ付きの、かじめちゃんマーク。こんなかわいらしい学会プログラムを私は初めて見ました。学会オリジナル・グッズも充実しており、Tシャツやマグカップはもちろん、



ボランティアスタッフ（会場係）。座長：濱田仁氏

トート・バック、『海藻おしば』などの本、なんと横濱先生のブリクラ・シールも密かに流通していました！

また、ポスター発表（夜の部）がアルコールO.K.というのも、大胆でありながら、大量の人数をうまく歓談チームとディスカッションチームに配分する賢明な工夫であったと思います。さらに、学会発表などが一通り終わったあとのイベントも充実しており、立地の利点が十分に生かされていたと思います。

私は今回はあくまでも営業活動(?)が主旨だったはずですが、以上のような条件がそろっていて楽しくないわけがなく、非常に良い思い出を作ることができました。

科学に関わる仕事について、今でも自然界の様々な興味深い事象と関わることができ、こうして学会を通して様々な先生とお話できることは、この上ない喜びです。お時間を割いて下さった先生方、本当に有り難うございました。

これからも、たくさんの先生方にご指導いただきながら、今後さらに重要度を増してくる環境教育に貢献すべく、教材開発に励んでいきたいと思っています。

(101-0021 東京都千代田区外神田5-3-10 中村理科工業 実験技術部)